

平成28年度授業改善推進プラン 《技術》西東京市立ひばりが丘中学校

●前年度の取組及び本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
コンピュータやソフトウェア等情報機器の基本的な取扱と利用の仕方、ものづくりの基本技術を習得することができた。	作品作りを通して、さらに実生活に役立てる視点を持たせることが課題である。

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	道具の扱い方に慣れていない生徒が多い。道具のしくみを理解していないため、効率良く作業することができない。	道具の使い方を教え、作業をしながら確認していく時間を確保する。なぜ切れるのか、なぜ削れるのかなど、しくみを正確に理解させる。
2年生	考察することに抵抗はないが、考えを深めていくということが苦手な生徒が多い。発言などの積極性は良い。	発問の仕方を工夫する。また、グループ活動を行う前後に個人で考える時間を確保する、またフィードバックさせる。
3年生	自分の考えを発表することに抵抗を感じている生徒が多い。面倒な作業を嫌う傾向にある。	グループ活動などを中心に、自分の考えを他者へ伝える取り組みを増やしていく。1つ1つの地道な作業が、大きな目標の達成へとつながっていることを意識させる。

●学校全体で取り組む内容

指示をしっかりと聞き、指示通りに作業・学習する習慣をつけるとともに、受け身の学習だけではなく自ら考えて意欲的に学ぶ姿勢を意識させる。
--